

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	令和元年5月20日（月）午後7時00分 ～ 8時30分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：峰岸喬、大槻千聡、建部直哉、南葉子、高橋幸子、百瀬佑子 （事務局）協働推進課長、協働推進課係長、協働推進課主任
報 告 事 項	1 チームさんかく委員会の進捗状況について
議 題	1 提言書で掲げた基本目標に対応する現計画の事業について 2 その他
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<p>報告事項1 チームさんかく委員会の進捗状況について 7月22日（月）に開催する「こどもサマーフェスティバル」の中で、カジリンピックという、子どもを対象にした家事をゲーム感覚で楽しめるイベントを行う。</p> <p>議題1 提言書で掲げた基本目標に対応する現計画の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域における男女平等の啓発」「男女共同参画週間事業の実施」「学習機会の提供の充実」は重点にする。 ・「教職員研修」に該当するが、この中に性教育の話しも入れ込み重点事業にする。 ・子ども目線でメディア・リテラシーを教える事業を追加する。 ・男女共同参画の推進を担う地域活動団体については「育成」を外し「連携」「連帯」を強調する。既存の市民団体に働きかけ、ゆーあいファミリーとして連携の輪を広げる。 ・防災分野については、提言の「ジェンダー視点での講習会や女性講師によるイベント等」を具体的な事業内容に入れる。 ・女性でもやりたいことができる職場環境づくりにつながる事業を入れる。 ・センターの周知に重点を置くのではなく、機能の充実や事業内容の充実に重点を置く。 <p>議題2 その他 情報誌ゆーあいに市民委員会の活動内容を掲載する件については、カジリンピックの紹介をすることになった。 次回会議は令和元年9月26日（木）に開催する。</p>
審 議 経 過 （主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。） （発信者） ◎印：委員長 ○印：副委員長 ●印：委員 □印：事務局	<p>議題1 提言書で掲げた基本目標に対応する現計画の事業について</p> <p>◎ 基本目標3について、C評価やD評価が多いが、事業をやり切れなかったということか。</p> <p>□ 担当課が自ら考える評価のため、担当課の考え方によっては、辛くつけているところもあれば、緩くつけているところもあるのではないかと。事業を実施していない場合はE評価となる。</p> <p>● 提言書に合わせると、「地域における男女平等の啓発」「男女共同参画週間事業の実施」「学習機会の提供の充実」は重点にしても良い。</p> <p>● 事業内容が全体的に「届きたい人に届いていない」印象がある。男女平等の考え方が必要な人、平等に接することが身に付いていない人に、これらの事業では届かないのではないかと思う。また、「年代に応じた性教育の推進」での事業内容に「学校等において男女の性についての認識を育てる学習」とあるが、具体的にどのようなことが行われているの</p>

か。

- 具体的には、教育委員会でないといけない。教育委員会が出してきているものを見てみると、あくまでも学習指導要領に沿った内容という書き方をしている。昔と比べれば変わってきているとは思いますが、先生方は相当苦労していると思う。学習指導要領を超える内容の教え方はできないと思う。
- 本当は、学習指導要領を超えた内容で教えたい。
- 学校での性教育はどこがやっているのか。
- 教育委員会の教育指導課が行っている。
- 教職員に対して男女平等に関する指導や啓発を実施した方が良いのではないか。
- 教職員に対しては、性教育についてはではないが、LGBTに関して、文部科学省から通知がきており、教職員向けの啓発事業が始まっている。
- 学習指導要領を変えることはできない中で、こちら側で何らかの施策を展開することは可能なのか。
- それを新計画の中に市民委員会として盛り込んでもらうということはある。ただし、実施できるかどうかは、また別問題である。
- SNSの発達により、性を意識する年齢がどんどん低くなっている。小学生のうちからしっかり性教育をした方が良い。計画に組み込んでいただければ、動きやすくなる。
- 教職員の研修という意味でいうと、基本目標3の「教職員研修」の項目に該当するが、この中に性教育の話も入れ込むということか。
- ◎ 重点事業にすることも考えられる。SNSとの関係で言うと「メディア・リテラシーを育成する学習機会の充実」にも関わってくる。情報の読み取り方をどう教えていくのかも教育に入る。教職員研修というアプローチから、子ども達に今の時代に合った情報が発信できれば良い。
- 信用できるホームページ等について、きちんと大人が教えるべきではないか。それをやっておかないと、いくら正しい情報を男女共同参画側で出したとしても、埋もれてしまう。大人でもわかっていない人がいると思うので、大人にもわかるような形が取れていると一番良い。
- 大人が子ども達に教える機会を作ると良いのではないか。そうした手法は、メディア・リテラシーに限らず、性教育や人権教育にも使うことができる。
- ◎ 子ども目線でメディア・リテラシーを教える事業があると良い。ふれあいセンターがやっている事業は、大人目線だと思う。
- ◎ 親子参加のワークショップができると良い。親子で勉強すると良い。また、特に外す事業はないと思う。

次に、基本目標4について検討する。

- 「男女共同参画の推進を担う地域活動団体の育成と連携」の中に示されている「市民グループ（団体）」とは、具体的にどのような団体か。
- 男女共同参画の推進団体は、武蔵村山市に1団体だけある。その団体はふれあいセンターの指定管理者として実際に運営している。ふれあいセンターの運営と同時に、男女共同参画を進める団体を育てるようお願いしている。登録団体は多数あるが、男女共同参画に主眼を置いた活動をしている団体は実際にはない。また、そうした団体を立ち上げる人もいない。重点項目ではあるが、達成困難な事業である。
- 男女共同参画を推進していくためには、かなりの専門知識が必要である。民間活動団体に働きかけていくことは結構難しい。
- 仮に団体が新しくできたとして、どんなことができるのかどうか。

- ◎ さんかく委員会のような活動ができると思う。
- 例えば、1つに視点を絞り、男女で楽しく家事をやるという団体が現れると、それも男女共同参画の団体になる。
- ◎ 今ある団体に、一部の活動に参加してもらうことはできるのではないか。
- 働きかけ方によっては、可能かもしれない。
- 例えば、ふれあいセンターで行っているお父さんのベビーマッサージ等をやっている団体に市の公共施設の使用登録をしてもらえれば、その団体は男女共同参画団体という見方ができる。
- ◎ それであれば、もう既に存在しているものの、男女共同参画のカテゴリーに入っていないだけの話なのではないか。育成するのではなく、既存団体の活動内容を見て、該当しそうな団体に対して、あなたの団体では男女共同参画において良いことをやっていますよと伝えることもできるのではないか。そういう形であれば、男女共同参画に関わる団体というのは出てくる。新たに育成することは、なかなかできない。
- 男女共同参画の団体と言うと、敷居が高い印象がする。この事業の評価の仕方がよくわからない。
- 現状では、団体が活動している実態が見えてこない。実際には何らかの活動をしていると思うが、既存団体とふれあいセンターと一緒に何かしようということになったら、初めて活動として見えてくる。
- ◎ ゆーあいでも男女共同参画に関連する活動を行っている団体を紹介するとか、既存団体の中から紹介するだけでも、この事業の内容に近くなるのではないか。市民活動団体の見える化だと思う。団体紹介は、ゆーあいだけがやるのではなく、市報で紹介することも考えられる。
- 6月の男女共同参画週間に紹介することも考えられる。
- 3団体くらいはあるのではないか。
- ◎ 団体の方でも、男女共同参画をしているということを自覚できる。
- その場合、団体にとってのメリットは何か。センターを使う団体であれば、使用料が免除されるメリットはあるが、硬い団体というイメージを持たれる可能性もある。
- ◎ もう少し柔らかくする表現が必要かもしれない。
- 例えば、「ゆーあいファミリー」とか。
- ◎ 参画マークを作って、認定したところに渡すとか。
- 市報等で団体の活動を紹介することで団体が広く知られることは、団体にとってのメリットになる。
- そうなると、「育成」ではなく「連帯」ではないか。育成だと、私達が見つけて育てる、という少し偉そうなニュアンスになる。それよりも、皆さんの力を借りて、一緒にやる・連帯して繋がっていく方が、男女共同参画の考え方にも合っている。
- 育成という言葉を外してもらえると、やりやすくなる。連帯の方が、一緒にやっていくにも盛り上がりやすい。
- ◎ 防災分野については、提言で「ジェンダー視点での講習会や女性講師によるイベント等」と具体的に表記しているので、そのあたりを具体的な事業内容に入れてもらえれば良い。提言2の「指導的地位に女性が占める割合の3割達成」というのは、前回の基本目標1には含まれていたが、ここにはない。これについては、何か事業を作る予定はあるのか。
- 指導的地位に女性が占める割合については、特定事業主行動計画の中で定めることになっている。基本目標1に入っているのですが、ここではないことなのかなと思う。
- ◎ なりたい人がなれない状況を変えていくような事業はあると良いので

はないか。

- 提言2の中にある「女性職員の職務充実」とは、どういう意味なのか。
- これまでは、女性職員は一般事務で決定事項には関わっていないというイメージがある。そこに積極的に関わることにより、女性が仕事に対してのやる気が上がるという意味である。
- ◎ 実態はどうか。
- 市役所でいうと、あまり男女差はない。管理職は別の話になるが、民間ではわからない。病院等では、女性の職務充実は図られていると思う。
- 看護師長は全員女性である。医師でも、各科の診療科長の中に女性が何名かいる。その点では、病院は特に問題はないと思う。ただし、女性職員の職務充実＝女性の働きやすい職場環境かどうかはわからない。例えば、病院の看護師は、昔から女性である。管理職を仕方なくやっている方もいると思う。男性ばかりの職場に比べると、ワーク・ライフ・バランスは進んでいると思う。
- ◎ 市政に限らないが、そうした事業も作っていただけると良い。
- 女性リーダー育成とか。
- 市役所は女性が多い部署はあるのか。
- 健康推進課である。
- ただし、課長は男性が多いように思う。
- 男性が多い。最近は増えてはいるが、手をあげる女性が少ない。
- 働き方改革の問題だろうか。
- 職域特性もある。例えば、小さい女の子が検診に来た時に、保護者としては、男性職員よりは、女性職員に診てもらいたいと思う。男性職員は心配だという気持ちはあると思う。
- 私はあまりそう思わないが。実際に検診のところにいるのは、全て女性だと思う。
- そうである。そういうことも関係している。
- 高校生になると、文系・理系に分かれるが、それが仕事の内容にどの程度影響してくるものなのか。先ほど、女性職員は事務職が多いという話があった。確かに、女性＝事務職＝文系という気がする。
- 職場にも性別役割分担意識が根強く残っており、私達の年代より上の人は、女性はお茶汲みからという中で育ってきている。今の若い人は、そういうことには関係なく、自分に合った仕事を選んでいると思う。
- ◎ 医科大学の問題等で、それが最近明るみになってきている。昔から比べると、だいぶ変わってきていると思う。女性でもやりたいことができる職場環境づくりにつながる事業を入れてもらえると良い。
- 防災会議委員というのは、防災安全課がやっているのか。
- そうである。
- ◎ 「避難所における男女共同参画の推進」の中で、「女性を参画させるよう検討」というのは、少し偉そうな表現である。
- 女性がまるでしたくないというような印象がする。
- ◎ 参画できるようにジェンダー視点での講習会などをするのが良い。「参画しやすいような」とかの表現にした方が良い。
- 次に、計画の推進について検討する。
- 「センターの周知」だが、事業内容にあるようにホームページを充実させていない、情報誌があまり発行されていない等の理由からC評価になっているのか。
- 5年前の計画を策定した時には、ふれあいセンターの名前が知られて

いなかったため立ち上げた事業だと思う。現在もふれあいセンターの中の男女共同参画センターゆーあいの名前は、まだまだ知られていない。もっと周知していかなければいけない。

- 皆さん、ふれあいセンターだと思って来館している。ふれあいセンターには第一老人福祉館と緑が丘コミュニティセンターもあり、男女共同参画センターゆーあいを含めた3館合同施設になっている。第一老人福祉館という名前もあまり知られていなく、ふれあいセンターにある福祉館と捉えられている。
- ◎ ゆーあいの名前を浸透させることに意味はあるのか。
- 市外の人でもふれあいセンターと認識している。
- ふれあいセンターという名前の方が知られていて、ふれあいセンターの講座と思って来る。周知の努力はこれからもしていくが、そこはなかなか難しい。
- ◎ もっと別のことに力を入れた方が良いのではないか。
- 男女共同参画センターだけではないので、人の目に触れやすいという面はある。老人福祉館やコミュニティセンターがあるので、高齢者から幼児連れの母親まで訪れる。融合施設だからこそ、色々な情報をお知らせする際にも効果的である。
- 周知に重点を置くのではなく、機能や事業内容の充実に重点を置いた方が良い。
- センター周知の目的は何か。センターを利用してもらうためか。
- 元々は男女共同参画の団体が活動しやすいように、男女共同参画センターの部屋を無料で使えるようにしていたが、現在、そうした団体がいないので、一般の団体の人が使っている。
- ◎ 無料で使えることがあまり知られていない。無料であることを知れば、団体登録するところも出てくるのではないか。男女共同参画に関する事業をする団体であれば無料で使えますよ、この部分は一緒に事業をしましょうよ、と情報提供しながら繋げていく方が良いのではないか。
- 今の状況では、ふれあいセンターの事業として皆さんに認知をされているので、その中でこの事業は男女共同参画センターの事業だよというのをより周知するというのでも良いのかもしれない。
- ◎ 事業内容を充実してもらえれば良い。今までの議論を踏まえてまとめたものはどうなるのか。
- まとめたものを、庁内委員に見てもらい意見をいただき、その後、市民委員会にお返りする。
- ◎ その中で、新しい事業を各担当課の方が立ててくるということか。
- 新しい事業が必要であれば、考えてください、見直すところがあれば見直してくださいというやり取りをする。センターの周知よりは、内容の充実を重点にした方が良いということか。
- ◎ その方が良いと思う。他にないか。
- 特になし

報告事項2 チームさんかく委員会の進捗状況について
—委員長から説明—

- ◎ 前回の委員会で2つの案を出したが、その1つをゆーあいで行う「子どもサマーフェスティバル」の中でブースを1つ借りてイベントを行うことを企画している。カジリンピックという、子どもを対象にした家事をゲーム感覚で楽しめるイベントで、7月22日(月)の午前11時から午後1時を予定している。サマーフェスティバル自体は午前9時から午後3時で実施しているが、その中の2時間を考えている。併せて、シ

	<p>ールアンケートで、例えば「家族の中で、お掃除は誰がやりますか」といったアンケートを行いたい。家庭でどれだけ男女共同参画が進んでいるのかを把握できるようなイベント考えている。この委員会の委員全員が出るという想定はしていないが、できれば皆さんとやりたいと考えている。強制的に必ず出ないといけないという訳ではなく、お手伝いしていただける方がいれば、お願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 呼び込みはサマーフェスティバルに参加している子ども達に声をかけるということか。それ以外にもチラシを作ったりするのか。 ● サマーフェスティバルのチラシを、市内の小中学校全てに配布する予定である。参加者はセンター周辺の子どもの多いが、割と小さな子どもも来る。あとは、ボランティアをする子の友達や兄弟・姉妹が来たりする。小学校低学年くらいの子どもの多い。 ◎ 市のフェイスブックにでも情報を流していただけるとありがたい。 ● 大人のボランティアも募集している。 ◎ もう少し具体的に話をつめたら、事務局からお知らせする。前回、もう1つの案として出た高校生対象の公開討論会については、きっちりと企画書を作る必要がある。可能性を残して、今後、チャンレジしていきたい。 <p>議題2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 前回の会議の際に、情報誌ゆーあいに市民委員会の活動内容を掲載したいということでご了承いただいたが、前回の会議の後に、もう一度ゆーあいの方にご相談したところ、会議の紹介よりもカジリンピックの紹介をしたらどうかという話になった。 ◎ どちらが良いのか。 ● カジリンピックの紹介で子どもが載っていた方が読んでもらえそう。 ◎ カジリンピックをやった後に情報誌を発行するのか。 □ そうである。 ● カジリンピックを載せて目を惹いておいて、提言書の真面目な内容を少し載せれば良い。 ◎ それも良い。カジリンピックの紹介で特に問題ない。 ◎ 次回は、9月26日（木）午後7時から開始する。
--	--

会議の公開・非公開の別	<ul style="list-style-type: none"> ■公開 □一部公開 □非公開 <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p>[]</p>	傍聴者： _____ 0 人
-------------	--	----------------

会議録の開示・非開示の別	<ul style="list-style-type: none"> ■開示 □一部開示（根拠法令等： _____) □非開示（根拠法令等： _____)
--------------	--

庶務担当課	協働推進部 協働推進課 （内線： 243 ）
-------	------------------------

（日本工業規格A列4番）